

# 松野町公共施設個別施設計画

令和 3 年 3 月(令和 8 年 3 月改訂)



# 目次

第1章	計画の概要	1
第1節	背景・目的	1
第2節	計画の位置づけ	2
第3節	計画期間	3
第4節	対象施設	4
第2章	松野町の公共施設の現状と課題	5
第1節	施設の保有状況	5
第2節	施設関連経費の推移	8
第3章	今後見込まれる施設維持管理・更新にかかる費用	11
第1節	施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果	11
第2節	推計条件	12
第4章	施設整備の基本的な方針等	13
第1節	施設マネジメントの基本方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）	13
第2節	維持管理の実施方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）	14
第3節	施設長寿命化の基本方針	15
第5章	長寿命化の実施計画	22
第1節	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	22
第2節	財政制約ラインの設定	23
第3節	長寿命化の実施計画	24
第6章	施設分類別の個別施設計画	25
第1節	町民文化・社会教育系施設 個別施設計画	25
第2節	スポーツ・レクリエーション施設 個別施設計画	27
第3節	産業系施設 個別施設計画	28
第4節	子育て支援施設 個別施設計画	28
第5節	保健・福祉施設 個別施設計画	29
第6節	医療施設 個別施設計画	29
第7節	行政系施設 個別施設計画	30
第8節	学校教育系施設 個別施設計画	31
第9節	公園 個別施設計画	31
第10節	供給処理施設 個別施設計画	31
第11節	その他施設 個別施設計画	32
第12節	上水道施設 個別施設計画	33
第7章	計画のフォローアップ	34

<b>第1節</b>	<b>情報基盤の整備と活用</b> .....	34
<b>第2節</b>	<b>推進体制の整備</b> .....	34
<b>第3節</b>	<b>フォローアップ</b> .....	34

## 第1章 計画の概要

---

### 第1節 背景・目的

わが国においては、高度経済成長期に、多くの公共施設の整備が進められてきました。その当時から建築された公共施設の建築年数は、30年以上経過し、その多くが耐用年数を超過した状況となっています。そのため、このような公共施設は、今後、大規模改修や修繕、建替えが必要となっています。

地方公共団体においても、少子・高齢社会の進展、高度情報化時代の到来など、社会経済情勢が急速に変化をしていく中で、高度化・多様化する住民ニーズに対応し、住民の皆様に満足していただける行政サービスを提供していくことが求められており、そのために、財政基盤の充実が喫緊の課題となっています。

公共施設の老朽化は社会的な問題となっており、本町においても将来の公共施設等に係る建替えや改修などの更新費用が増加することが予測されます。さらに、厳しい財政状況が続く中で、今後、人口減少などにより、公共施設等の利用需要が低下していくことが予想されます。

このような状況下で、国からも公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という）の策定を要請されることとなりました。本町においては、平成28年度に総合管理計画を策定しました。

総合管理計画では、町全体の公共施設の総合的な状況把握、方針の策定を行いました。さらに個別の施設毎の実行計画を策定することが求められており、具体的な対策内容や実施時期、対策費用を考える必要があります。このため、本町の関連計画と整合を図りながら、施設の劣化状況を踏まえ、「松野町公共施設個別計画」を策定します。

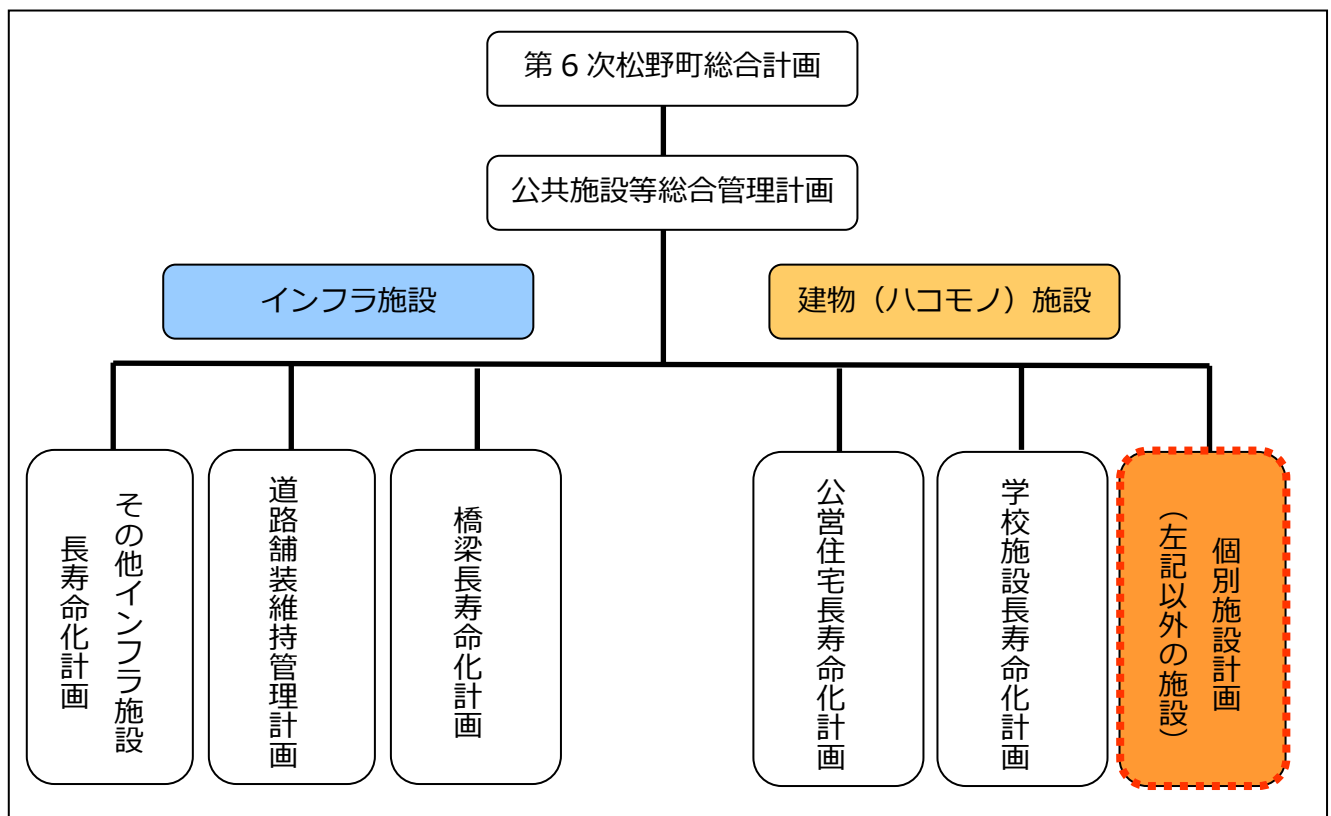
## 第2節 計画の位置づけ

総合管理計画は、本町の最上位計画である「第6次松野町総合計画」を下支えする計画であり、本計画は、総合管理計画の下位計画として位置づけられます。

本計画では、総合管理計画に掲げる建物施設のうち（学校施設及び公営住宅）を除く施設に対し、維持管理方針を示すとともに、施設ごとの更新・改修等の対策内容や実施時期、対策費用を示します。

※学校施設は学校施設長寿命化計画、公営住宅は公営住宅長寿命化計画に位置づけられますので、本計画には対象外となります。

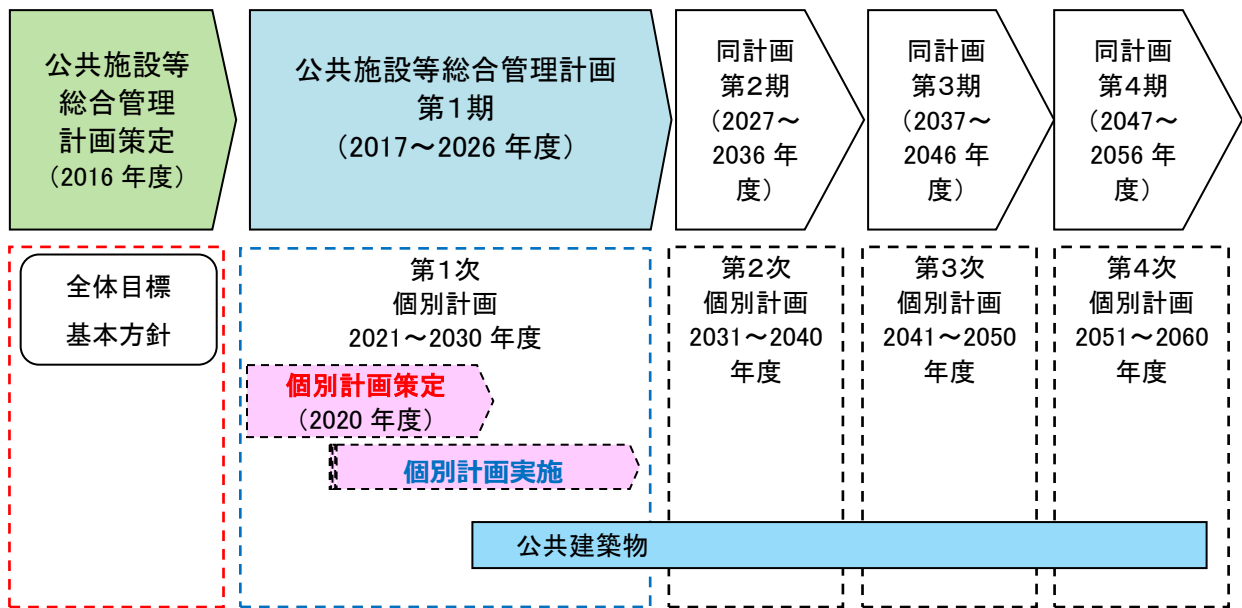
図表 1 計画の位置づけ



### 第3節 計画期間

上位計画である総合管理計画は、公共施設を総合的かつ計画的に管理していくためには中長期的な視点が不可欠なため、2016年度から2055年度までの40年間に見込まれる更新費用推計に基づき策定しました。また、2017年度から2026年度までの10年間を第1期の計画期間としているため、本計画の計画期間も、これに合わせ2021年度から2030年度までの10年間とし、5年ごとに中間見直しを行うものとし、また、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても見直しを行うものとし、

図表 2 計画期間



#### 第4節 対象施設

総合管理計画に掲げる建物施設のうち学校教育施設及び公営住宅を除く、以下の用途の施設を本計画の対象とします。対象施設は、施設の状態等を把握し、後述の施設整備の基本的な方針等に基づき、計画期間における対策内容等を整理します。2024年3月現在で、141施設183棟、総延床面積は39,300.51㎡となっています。

図表 3 本計画の対象施設

施設用途	施設数	棟数	延床面積(㎡)
町民文化・社会教育系施設	62	71	10,405.61
スポーツ・レクリエーション施設	12	18	11,141.98
産業系施設	11	14	4,308.98
学校教育系施設（※学校以外の施設）	1	4	1,798.03
子育て支援施設	1	1	1,334.18
保健・福祉施設	4	7	1,458.33
医療施設	4	4	2,033.26
行政系施設	10	15	3,127.13
公園	5	5	52.70
供給処理施設	2	2	84.96
その他施設	15	23	3,418.69
上水道施設	14	19	136.66
合計	141	183	39,300.51

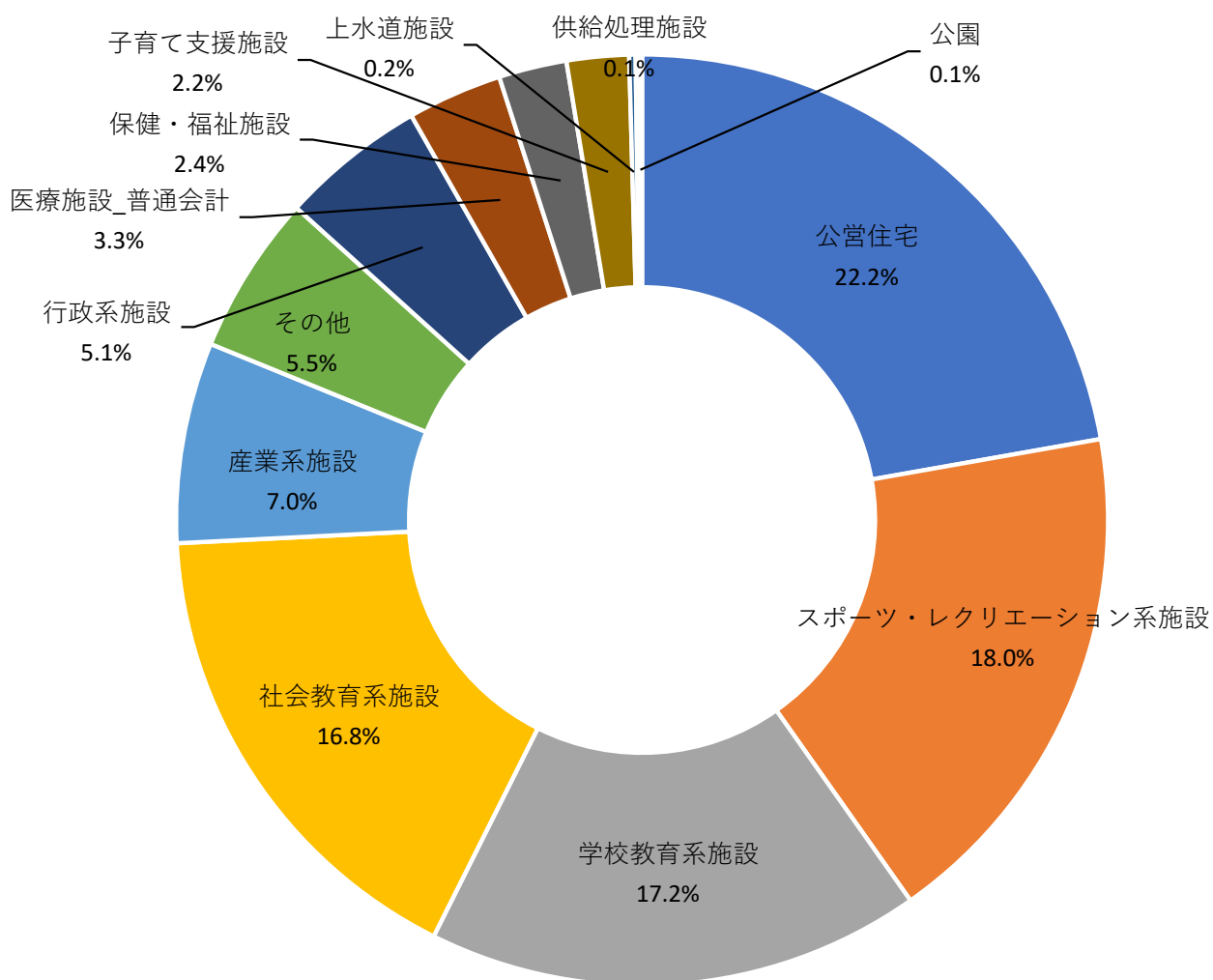
※延床面積、施設数は2024年度末現在の総量です。

## 第2章 松野町の公共施設の現状と課題

### 第1節 施設の保有状況

本町が保有している公共施設は、施設用途別延床面積にみると、公営住宅が最も多く 22.2%を占め、次いで、スポーツ・レクリエーション系施設の 18.0%、学校教育系施設の 17.2%の順に多くなっています。

図表 4 施設用途別延床面積の割合

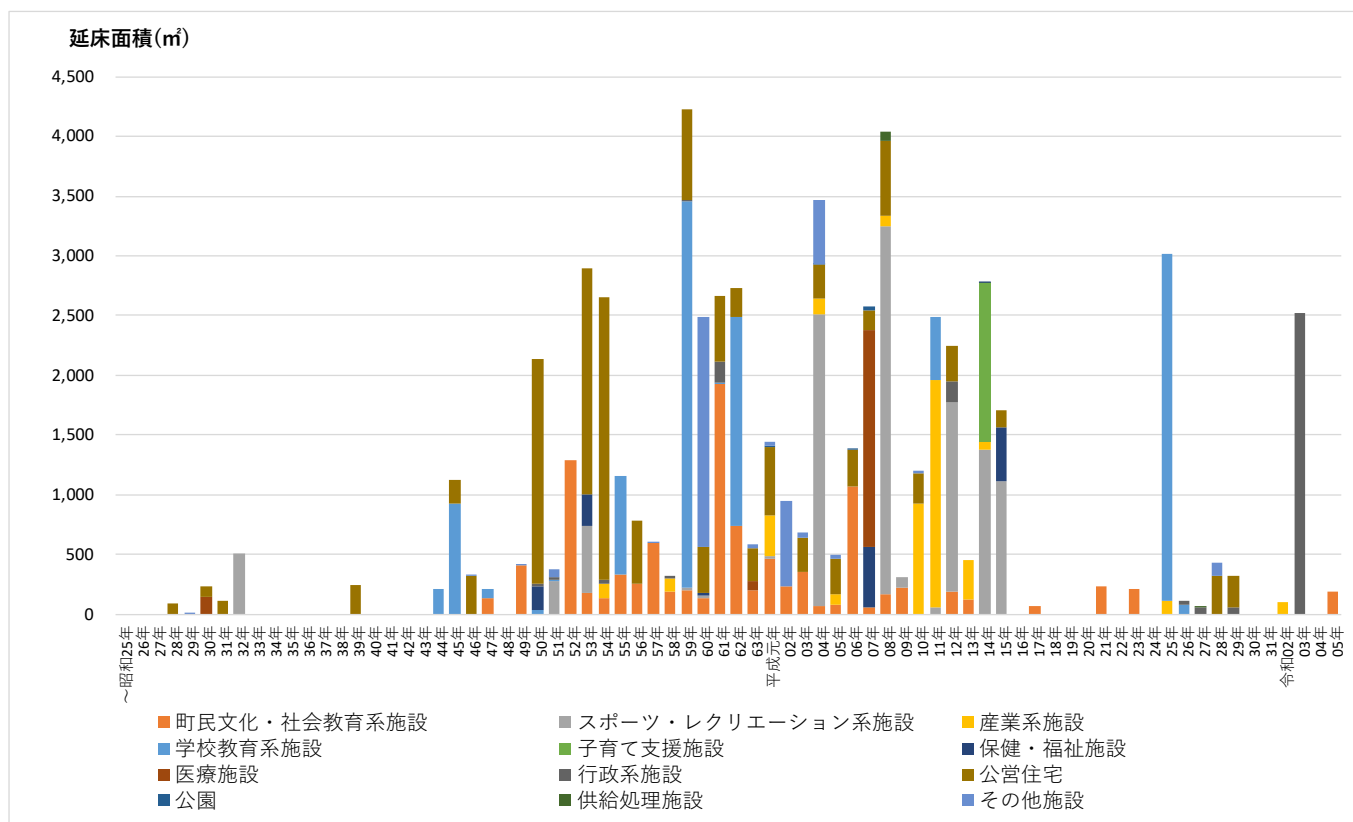


※学校教育施設及び公営住宅含む

築年別の整備状況をみると、昭和 28 年度から令和 5 年度の間には建設され、旧耐震基準が適用されていた時期である昭和 56 年以前に整備された旧耐震基準の建築物が全体の約 23%、築 30 年以上の建物は約 57%を占めています。施設の耐震性確保や老朽化の進行の面で深刻な状況にあることがわかります。

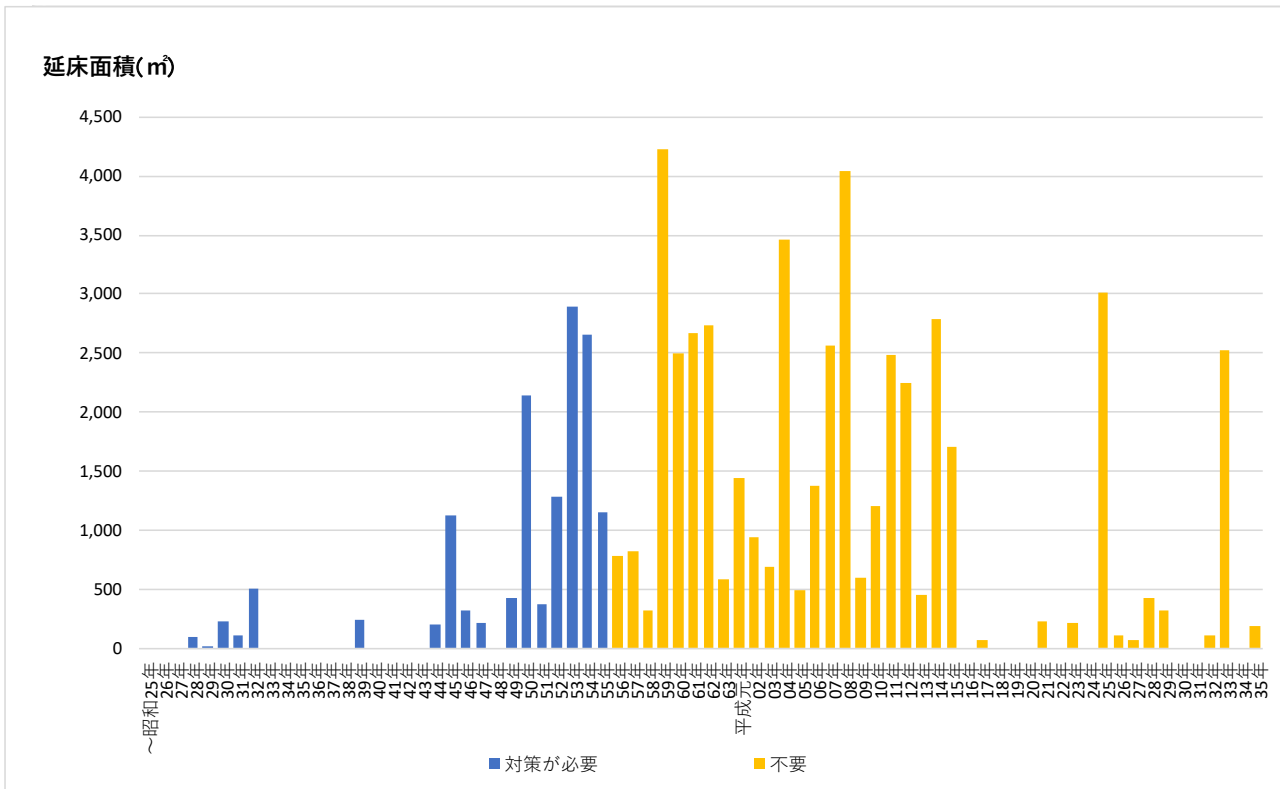
図表 5 の築年別整備状況からは、昭和 50 年度ごろ公共施設が増加しています。昭和 50 年度から昭和 54 年度にかけて公営住宅を建設し、昭和 59 年度から昭和 62 年度にかけて学校教育系施設が増えていきます。さらに、平成 4 年度～平成 15 年度にかけてスポーツ・レクリエーション施設が増えていきます。平成 25 年度には中学校を、令和 3 年度には庁舎を建替えています。

図表 5 築年別整備状況



	築 20 年未満	築 20-30 年	築 30-40 年	築 40 年以上	合計
延床面積(m <sup>2</sup> )	7,257.26	19,191.99	19,804.95	15,733.51	61,987.71
割合(%)	11.7	31.0	31.9	25.4	100

図表 6 耐震化の状況



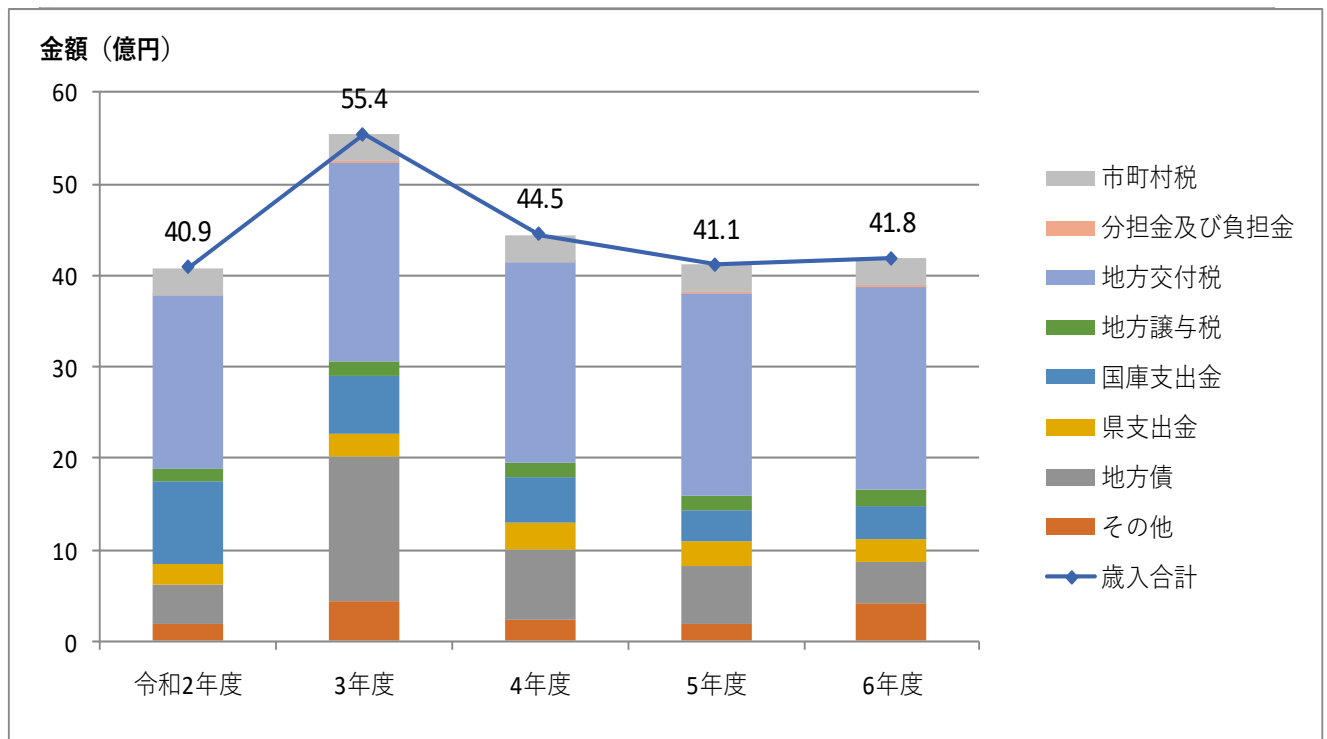
	旧耐震基準	新耐震基準
延床面積(m <sup>2</sup> )	13,975	45,567
割合(%)	23%	77%

## 第2節 施設関連経費の推移

### (1) 歳入の状況

歳入は、地方交付税が歳入の約50%を占めています。地方債発行額は令和3、4年度に庁舎の建替え事業により増加しております。町税収入は、ほぼ横ばいで推移しています。今後も経済情勢の回復が不透明なことや労働者人口の減少により、税収の大幅な増加は見込めない状況であります。

図表7 歳入の推移

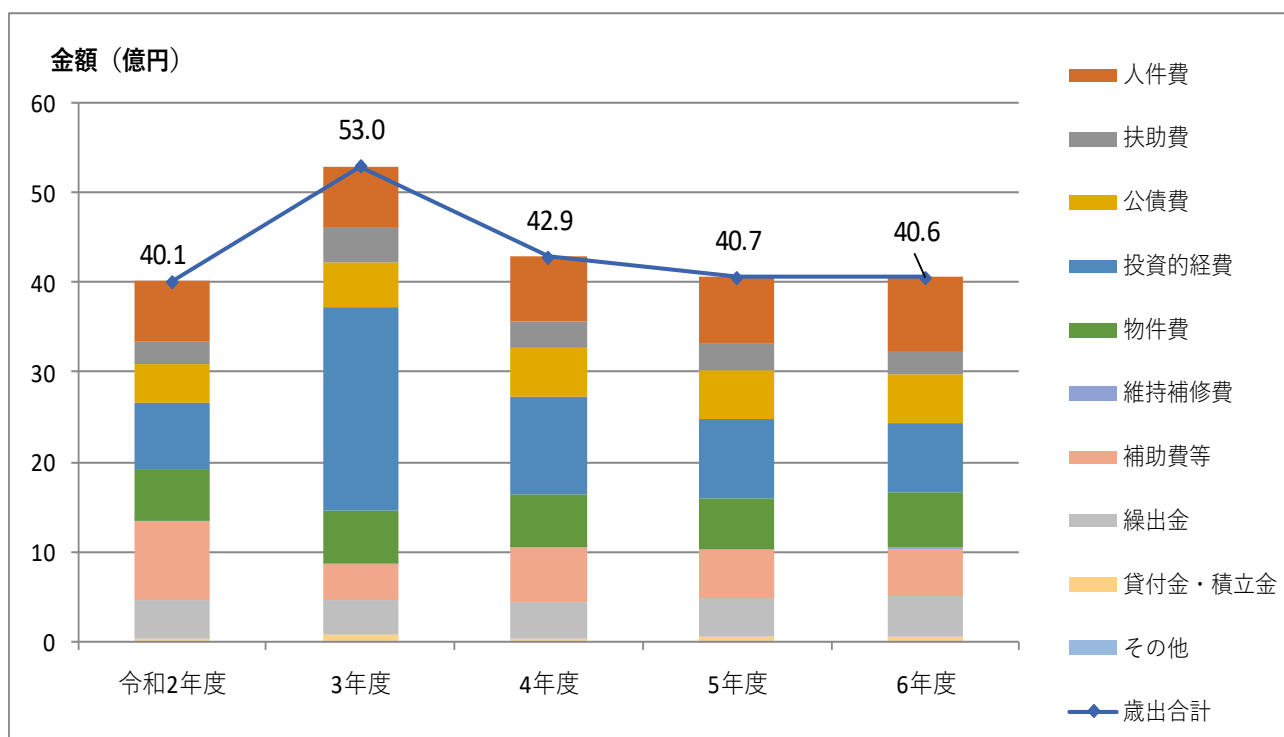


歳入 (円)	市町村税	分担金及び負担金	地方交付税	地方譲与税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	歳入合計
令和2年度	297,638,000	13,097,000	1,897,047,000	140,233,000	905,226,000	207,225,000	442,168,000	186,754,000	4,089,388,000
3年度	289,695,000	27,301,000	2,166,070,000	152,029,000	625,136,000	262,044,000	1,579,097,000	437,724,000	5,539,096,000
4年度	290,677,000	15,713,000	2,188,605,000	151,636,000	500,010,000	286,310,000	766,743,000	246,545,000	4,446,239,000
5年度	288,786,000	18,917,000	2,205,646,000	156,971,000	356,064,000	263,977,000	636,427,000	186,412,000	4,113,200,000
6年度	277,639,000	30,276,000	2,210,953,000	184,320,000	360,754,000	239,589,000	465,955,000	413,891,000	4,183,377,000

## (2) 歳出の状況

歳出は、施設の建設など投資的経費が増えています。人件費・扶助費・公債費などの義務的経費も年々増加傾向にあります。

図表 8 歳出の推移

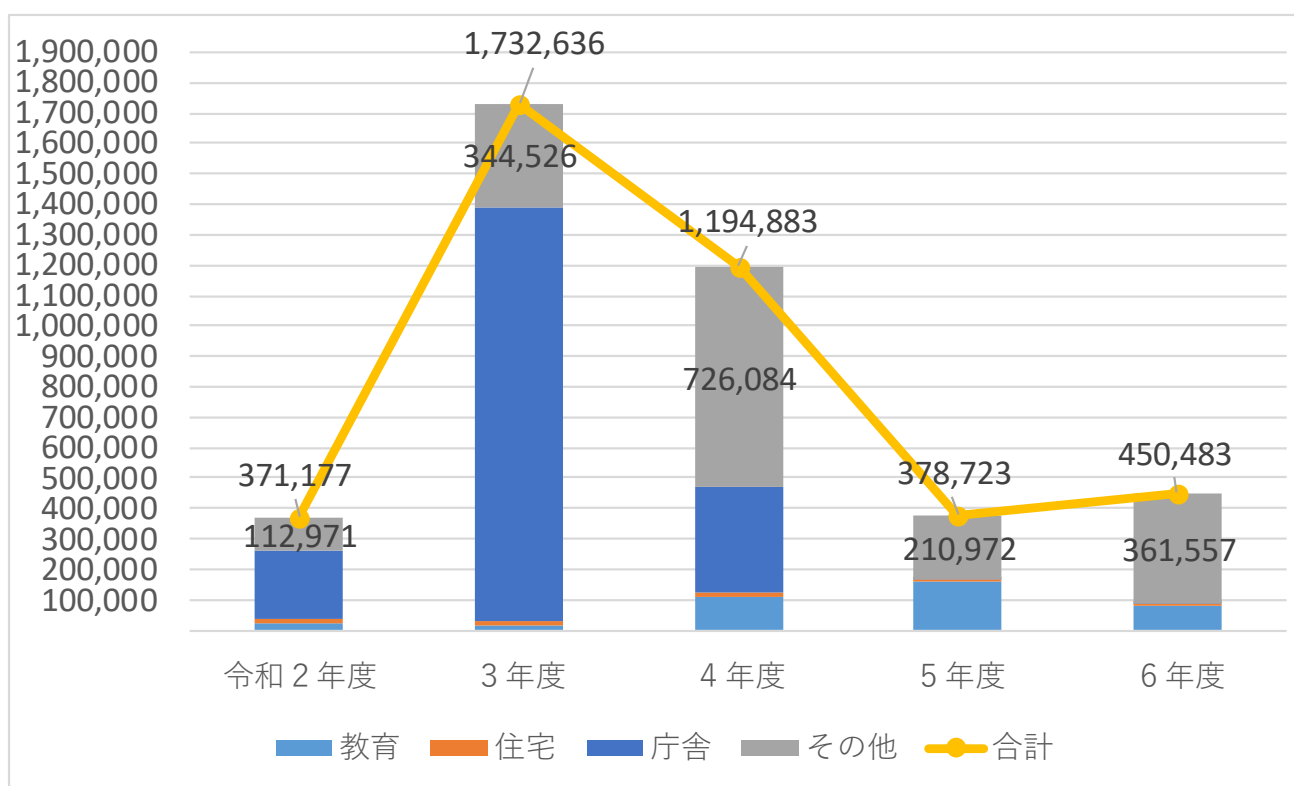


歳出(円)	人件費	扶助費	公債費	投資的経費	物件費	維持補修費	補助費等	繰出金	貸付金・積立金	その他	歳出合計
令和2年度	674,003,000	252,071,000	439,481,000	745,813,000	557,797,000	6,059,000	884,207,000	428,111,000	25,525,000	0	4,013,067,000
3年度	698,057,000	369,257,000	518,788,000	2,267,934,000	575,332,000	3,821,000	419,995,000	372,649,000	76,586,000	0	5,302,419,000
4年度	715,075,000	307,340,000	536,992,000	1,098,864,000	590,132,000	3,202,000	596,170,000	417,942,000	26,093,000	0	4,291,810,000
5年度	748,470,000	285,221,000	548,722,000	888,506,000	565,733,000	1,556,000	551,973,000	423,579,000	51,720,000	0	4,065,480,000
6年度	824,755,000	262,083,000	546,872,000	757,947,000	631,039,000	5,621,000	530,462,000	450,600,000	50,922,000	0	4,060,301,000

### (3) 投資的経費の状況

直近5年間の投資的経費は、3.7億円から17.3億円の水準で推移しており、学校施設整備事業等を実施しています。投資的経費の平均値は、教育で約8千万円、住宅で約1千万円、庁舎で約3億8千万円、その他で約3億5千万円となっています。この平均値を各施設の財政制約ラインの参考とします。この先の老朽化施設の維持更新や大規模修繕等を行っていくためには、中長期的な見通しと財政と連動した計画的かつ戦略的な公共施設マネジメントが重要となります。

図表 9 投資的経費の推移（千円）



	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	平均
教育	25,458	16,800	107,034	157,178	78,387	<b>76,971</b>
住宅	14,253	15,674	15,277	10,008	10,241	<b>13,091</b>
庁舎	218,495	1,355,636	346,488	565	298	<b>384,296</b>
その他	112,971	344,526	726,084	210,972	361,557	<b>351,222</b>
合計	371,177	1,732,636	1,194,883	378,723	450,483	<b>825,580</b>

千円

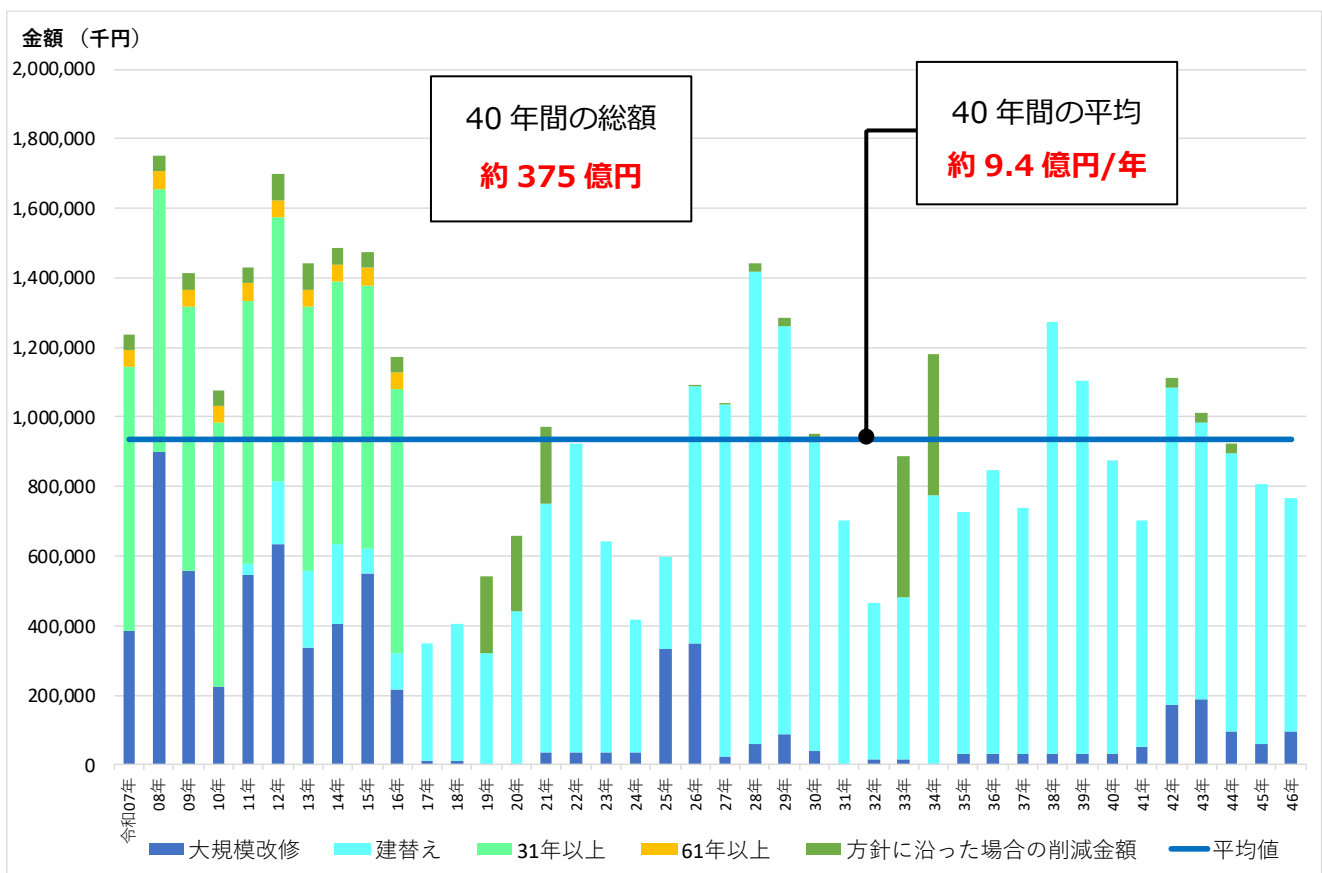
### 第3章 今後見込まれる施設維持管理・更新にかかる費用

#### 第1節 施設維持管理・更新にかかる費用の推計結果

本町が所有する建築系公共施設を、すべて大規模改修を実施し、現状規模のまま建て替えた場合、今後40年間で375億円（年平均9.4億円）の更新費用がかかる見込みとなります。

本計画の中間見直し以降の令和7年度から令和16年度までの10年間は大規模改修費用が発生し、10年間の合計金額は、約14.2億円となります。この10年間の平均金額は、約14.2億円となります。今後は、地方債の残高増加や、人口減少や高齢化に伴い、税収減や社会保障費の増加が見込まれるため、公共施設の更新費用の財源は不足することが懸念されます。

図表 10 将来更新費用推計



## 第2節 推計条件

- 計算方法：延べ床面積×更新単価※図表 参照  
耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定して計算。
- 大規模改修単価：建替えの6割と想定し、この想定単価を設定する。
- 耐用年数：標準的な耐用年数とされる60年を採用することとする。
- 大規模改修：建設後30年で行うものとする。
- 経過年数が31年以上50年までのもの：今後10年間で大規模改修を行うものとして計算。
- 経過年数が51年以上のもの：大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えるとして計算。
- 耐用年数が超過しているもの：今後10年間で均等に更新するものとして計算。
- 建替え期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、3年間として計算。
- 修繕期間：設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、2年間として計算。

図表 11 更新費用推計に関する設定・更新単価

連番	施設用途分類	大規模改修	建替え
		単価(円/㎡)	単価(円/㎡)
1	町民文化・社会教育系施設	320,000	512,000
2	スポーツ・レクリエーション施設	256,000	460,800
3	産業系施設	320,000	512,000
4	学校教育系施設	217,600	422,400
5	子育て支援施設	217,600	460,800
6	保健・福祉施設	256,000	460,800
7	医療施設	320,000	512,000
8	行政系施設	320,000	512,000
9	公営住宅	217,600	358,400
10	公園	217,600	422,400
11	供給処理施設	256,000	460,800
12	その他	256,000	460,800
13	上水道施設	256,000	460,800

(一般財団法人地域総合整備財団 公共施設等更新費用試算ソフトの単価参照)

## 第4章 施設整備の基本的な方針等

### 第1節 施設マネジメントの基本方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）

総合管理計画では、公共施設を適正に管理していくために、公共施設の管理に関する目標や基本方針を定めています。本計画は、総合管理計画の方針を具体的に実行するために策定するものであることから、この基本方針を踏襲します。

#### 公共施設の管理に関する目標

公共施設については、新規整備の抑制、施設の複合化を推進することで施設総量を縮減し、将来の更新費用の低減を目指します。（40年間で30%縮減）

#### 公共施設の管理に関する基本方針

- 1 新規整備は原則として行わない
  - 長寿命化、維持補修計画などを適正に行い、また既存施設の有効活用を図り、新規整備は原則として行いません。
  - 町の重要施策実現のために新規整備が必要な場合は、必要性や優先順位、費用対効果を十分に考慮して行うこととします。
  - 事業手法としては、PPP/PFIなどの民間活力の導入など、幅広く検討します。
- 2 施設の更新時には施設の複合化を検討し、ニーズに応じた機能の存続を図る
  - 施設の更新を行う際は、近隣の類似施設との統合や複合化を検討します。また遊休施設の活用、施設機能の複合化などにより、機能を集約しつつ、施設総量を縮減していきます。
  - 複合施設においては、管理・運営についても一元化・効率化を図ります。また、施設の複合化により空いた土地は、賃貸や売却などにより活用することとします。
- 3 将来の施設の更新費用を縮減する
  - 本町の公共施設の更新費用は40年間で276.9億円を要するという試算がされており、この額は現状の2.2倍です。財政状況のますます厳しくなることが予想されるため、施設総量を現状から30%縮減することを目標とします。
  - 総人口が令和2年と比較して、令和27年までに45%、令和47年までに71%減少すると予想されていることを踏まえ、施設を更新する際には床面積を縮小することを基本とします。

- 近隣に重複している機能を有する施設（会議室、ホールなど）がある場合については、利用状況やコスト状況を踏まえ、統合・整理を検討します。稼働率の低い施設は、運営改善を徹底し、その上でなお、稼働率が低い場合は、廃止・除却を検討します。
- 改修・更新コスト、維持管理コストを縮減します。
- バリアフリー、環境、防災などの新たなニーズに対しては、効率的な整備・対応を推進することにより、少子高齢化、人口減少に対応した持続可能なまちづくりを推進します。

## 第2節 維持管理の実施方針（「公共施設等総合管理計画」より抜粋）

### <点検・診断等の実施方針>

- 定期的に点検・診断を行い、経年による施設の老朽化や機能低下の状況を把握し、対応が必要な箇所やコストの把握を行います。
- 日常点検ができていない施設について把握を行い、点検項目・点検周期などをまとめたマニュアルを作成し、日常点検を実施する体制を構築します。
- 点検・保守及び整備については、その履歴を集積・蓄積することで、老朽化対策などに活かし、また本計画にも反映していきます。
- 耐震診断、劣化診断などの診断結果があるものはそのデータを利用し、本町で必要とする品質・性能が把握できる評価項目について、診断を行うこととします。

### <維持管理・修繕・更新等の実施方針>

- 既存の公共施設に対し、点検・診断を実施することによって、長期的な視点で計画的に改修等を行う予防保全型の維持管理に努めます。また、長寿命化コストの縮減と年度間のコスト平準化を推進します。
- 施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、今後の点検・診断・予防保全等に活用するという、メンテナンスサイクルを施設類型ごとに構築していきます。
- 建築後30年を超える施設は、大規模改修・更新の必要性について検討を行います。

### <安全確保の実施方針>

- 危険性が認められた建物や設備については、スピード感をもって安全確保の対策を実施するとともに、今後も利用見込みのない公共施設等については、取壊し等も含めて検討します。
- 施設の更新・建替えを検討する際には、災害安全性などを考慮した場所への設置を十分に検討します。

- 長寿命化や除却等を行う際は、地方債の特例措置をはじめとする、国の地方財政措置の有効的な活用を図ります。

### 第3節 施設長寿命化の基本方針

中長期的な維持管理にかかるトータルコストの削減、予算の平準化を実現するために以下に示すような建物を除き、長寿命化改修を実施します。

○長寿命化改修しない施設

- ・コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm<sup>2</sup>以下の施設について、長寿命化適性診断の結果より長寿命化に適さない建物
- ・木造・ブロック造の建物（※適宜補修をしながら、50年を目標に使用する）

図表 12 老朽化対策の内容

部分	全体
部位修繕	長寿命化改修
大規模改造	改築

#### ① 目標使用年数、改修周期の設定

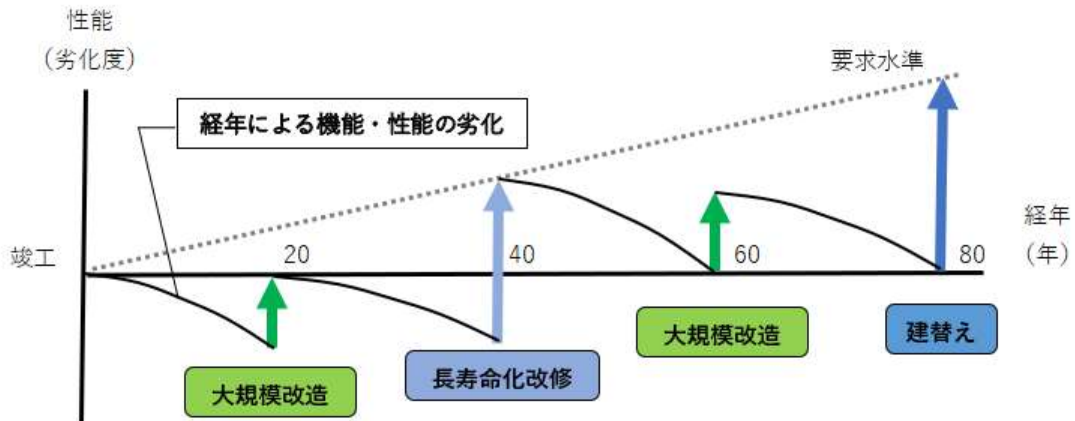
本町の目標使用年数は、建物の構造別に目標耐用年数が示されている「建築物の耐久計画に関する考え方」（社団法人日本建築学会）を総合的に勘案し、図表 13 の目標使用年数表とします。鉄筋コンクリート造は目標使用年数を 80 年とし、大規模改造の周期を 20 年、60 年、長寿命化改修の周期を 40 年とします。木造・ブロック造は、大規模改造の周期 25 年を実施しながら、目標使用年数を 50 年とします。安全で安心して利用できる公共施設を継続的に使用するため、計画的に点検や改修等を行い、施設の長寿命化を進めていく必要があります。

図表 13 目標使用年数表

鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造・ブロック造
80 年	80 年	50 年

図表 14 長寿命化の場合の改修周期

構造	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期	改築
鉄筋コンクリート造	20年/60年	40年	80年
鉄骨造	20年/60年	40年	80年
木造・ブロック造	25年		50年



大規模改造	長寿命化改修	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能向上工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋上防水改修</li> <li>・ 外壁改修</li> <li>・ トイレ改修</li> <li>・ 内装改修</li> <li>・ 設備機器改修</li> <li>・ 劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・ 故障、不具合修繕 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋上防水改修</li> <li>・ 外壁改修</li> <li>・ トイレ改修</li> <li>・ 内装改修</li> <li>・ 設備機器改修</li> <li>・ 劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・ 故障、不具合修繕 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリート中性化対策</li> <li>・ 鉄筋の腐食対策</li> <li>・ バリアフリー改修</li> <li>・ 外壁、屋上の断熱化改修</li> <li>・ 省エネルギー機器への更新</li> </ul>

## ② 長寿命化の効果

長寿命化改修の効果としては、図表 15 のメリットとデメリットがあり、メリットとしては、工期短縮や工事費の縮減などの工期とコスト削減の効果があります。デメリットとしては、既存躯体を利用するため間取りなどの変更に制約がかかります。

図表 15 改築と長寿命化改修のメリットとデメリット

比較	メリット	デメリット
改 築	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設計や施工上の制約が少ない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃棄物が大量に発生する</li><li>・ 既存建物の解体と廃棄に費用と時間がかかる</li><li>・ 工事に時間と費用がかかる</li></ul>
長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 工期短縮、工事費の縮減ができる</li><li>・ 廃棄物が少ない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設計や施工上の制約が多い</li></ul>

(学校施設の長寿命化改修の手引きより)

#### 第4節 保全優先度の判定

予防保全型の改修周期を基に、劣化状況の評価指標である施設健全度や施設重要度、単位あたりのコストを考慮して、改修等の対策の優先順位を検討します。判定結果は、下記の図表のように整理します。

図表 16 保全優先度判定表

	施設健全度			
	I (40点未満)	II (40点以上 50点未満)	III (50点以上 60点未満)	IV (60点以上)
施設 重要度 I	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
施設 重要度 II	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
施設 重要度 III	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ
保全優先順位 表の見方	Ⓐ群に分類した施設が最も保全優先度が高く、Ⓑ群以降は、その各番号順に優先度は低くなります。各群内での優先度は、原則として、単位あたりのコストが高い施設を優先しますが、各施設の状況等を考慮して判断します。			

<施設健全度>

施設健全度は、下記の計算式で算出しています。

健全度の計算式

$$\text{健全度} = \text{総和 (部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

計算例)

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8	= 800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	= 292
						計 3,148
						÷ 60
						<b>健全度 52</b>

図表 17 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60.0

部位別劣化度の評価は、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本に下表のとおり4段階で評価しています。

図表 18 目視による評価基準【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	配点
A	概ね良好	100点
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	75点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	40点
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	10点

図表 19 経過年数による評価基準【内部仕上・電気設備・機械設備】

評価	基準（経過年数）	配点
A	20 年未満	100 点
B	20～40 年未満	75 点
C	40 年以上	40 点
D	経過年数に関わらず著しい劣化が著しい場合	10 点

施設健全度の点数に関わらず、C、D評価の部位は、修繕・改修が必要とし、D評価の部位は、5年以内に部位修繕を実施し、C評価の部位は、10年以内に部位修繕を実施します。

（ただし、建替え、長寿命化改修、大規模改修を部位修繕期間内に実施する場合を除く）

図表 20 施設重要度の判定基準

重要度	区分	例
I	庁舎等、学校施設等 避難所指定のある施設	役場、本庁、支所 小中学校、保育所、公民館、総合体育館 など
II	避難所指定なし かつ 200 m <sup>2</sup> 超または 2 階以上	公民館(避難所指定なし) 体育館(避難所指定なし) など
III	小規模なもの (200 m <sup>2</sup> 以下かつ平屋)	公営住宅(小規模)、公園、その他

施設重要度は、本町では上記の図表 20 のとおり、3段階に重要度を分類しました。

判定した優先度に従って、対象施設を以下のように整理しました。

図表 21 保全優先度判定表

	施設健全度			
	I (40点未満)	II (40点以上50点未満)	III (50点以上60点未満)	IV (60点以上)
施設重要度 I	・松野町役場【廃止】		・スポーツ交流センター【長寿命化】 ・屋内多目的広場【長寿命化】 ・中央診療所【長寿命化】	・コミュニティセンター【長寿命化】 ・目黒基幹集落センター【長寿命化】 ・吉野生交流促進センター【現状維持】 ・虹の森まつの保育園【長寿命化】 ・吉野生公民館【長寿命化】
施設重要度 II	・松野町健康増進センター【長寿命化】 ・松野町緑地等利用休養施設（旧松野温泉）【現状維持】 ・松野町隣保館【長寿命化】	・目黒ふるさと館【現状維持】 ・森の国ふれあいセンター【長寿命化】 ・向井大型作業所【現状維持】	・芝不器男記念館【現状維持】 ・松野南小学校【長寿命化】 ・倉庫（旧タバコ乾燥場）【長寿命化】	・藤生集会所【現状維持】 ・埋蔵文化財センター【現状維持】 ・ふれあい交流館【現状維持】 ・虹の森公園施設【現状維持】 ・ユースホステル万年荘【現状維持】 ・松野町農業公園【現状維持】 ・松野町総合営農指導拠点施設【長寿命化】 ・松野町育苗施設【長寿命化】 ・松野町梅加工施設【長寿命化】 ・高齢者共同生活住宅【現状維持】 ・保健センター【現状維持】 ・直営班事業所【長寿命化】 ・吉野生公民館【長寿命化】 ・延野々集会所【現状維持】
施設重要度 III	・山村開発町民センター【廃止】 ・河後森城発掘調査事務所【長寿命化】 ・小規模作業施設やまぶき庵【長寿命化】 ・河後森城跡【長寿命化】 ・虹の森公園展望休憩所【長寿命化】 ・吉野西レクリエーション広場休憩所【長寿命化】 ・松丸地区住民レクリエーション広場【長寿命化】 ・滑床養魚センター【長寿命化】 ・林業用機械保管倉庫【長寿命化】 ・目黒共同作業所【長寿命化】 ・豊岡後共同作業所【長寿命化】 ・農山村多面的機能活用施設【長寿命化】 ・山菜等加工創作館【長寿命化】 ・目黒特産品販売所【集約化】 ・共同農機具保管施設【長寿命化】 ・田舎みそ加工施設【長寿命化】 ・農産物処理加工施設（カミナリ漬）【集約化】 ・吉野生保育園【廃止】 ・木工工作所（旧老人憩いの家）【長寿命化】 ・防災無線中継局【廃止】 ・松丸分団詰所【長寿命化】 ・松丸分団ポンプ車庫【長寿命化】 ・延野々消防車庫【長寿命化】 ・豊岡後消防車庫【長寿命化】 ・豊岡前消防車庫【長寿命化】 ・富岡消防車庫【長寿命化】 ・吉野消防車庫【長寿命化】 ・松野町河川公園やすらぎゾーン（上流部）【長寿命化】 ・奥内農村公園公衆便所【長寿命化】 ・伊井公園公衆便所【廃止】 ・文珠公園公衆便所【長寿命化】 ・天ヶ瀬公園公衆便所【長寿命化】 ・リサイクルセンター【長寿命化】 ・滑床公衆便所（キャンプ場）【長寿命化】 ・滑床レクリエーション広場便所（第2駐車場）【長寿命化】 ・滑床出合滑公衆便所【長寿命化】 ・吉野生山村広場付帯施設【長寿命化】 ・俳句の小径休憩所・便所【長寿命化】 ・日平鉱泉場【長寿命化】 ・日平鉱泉浴場【長寿命化】 ・滑床駐車場便所（第1駐車場）【長寿命化】 ・松丸浄水場【長寿命化】 ・豊岡後浄水場【長寿命化】 ・豊岡前浄水場【長寿命化】 ・川の内ポンプ室【長寿命化】 ・富岡浄水場【長寿命化】 ・目黒浄水場【長寿命化】 ・奥野川第1浄水場【長寿命化】 ・遊鶴羽共同浄水場【長寿命化】 ・水道資材倉庫【長寿命化】 ・小屋の川ポンプ室【長寿命化】 ・櫻谷ポンプ室【長寿命化】 ・奥野川第2浄水場【長寿命化】	・谷口診療所【長寿命化】 ・葛川浄水場【長寿命化】 ・葛川高区ポンプ室【長寿命化】	・向井集会所【現状維持】 ・目黒診療所【長寿命化】 ・富岡地吉集会所【現状維持】 ・寺組集会所【現状維持】	・豊盛集会所【現状維持】 ・豊岡前集会所【現状維持】 ・富岡地吉集会所【現状維持】 ・富岡久米地集会所【現状維持】 ・国木谷集会所【現状維持】 ・富岡富民集会所【現状維持】 ・豊岡前5区集会所【現状維持】 ・延野々東組集会所【現状維持】 ・豊岡前7区集会所【現状維持】 ・五郎丸集会所【現状維持】 ・豊岡前3区集会所【現状維持】 ・鈴井集会所【現状維持】 ・鳥居集会所【現状維持】 ・奥野川本村集会所【現状維持】 ・奥野川多目的共同利用施設【現状維持】 ・磯崎集会所【現状維持】 ・葛川集会所【現状維持】 ・天満集会所【現状維持】 ・奥野川下組集会所【現状維持】 ・河之内集会所【現状維持】 ・西の川集会所【現状維持】 ・豊岡後上組集会所【現状維持】 ・上在集会所【現状維持】 ・豊岡前1区集会所【現状維持】 ・上目黒集会所【現状維持】 ・延野々住宅組集会所【現状維持】 ・祝井集会所【現状維持】 ・野尻集会所【現状維持】 ・吉井谷集会所【現状維持】 ・谷口集会所【現状維持】 ・奥野川中組集会所【現状維持】 ・梁瀬集会所【現状維持】 ・西組集会所【現状維持】 ・奥内集会所【現状維持】 ・小屋の川集会所【現状維持】 ・宮川集会所【現状維持】 ・豊岡後12組集会所【現状維持】 ・上家地集会所【現状維持】 ・真土集会所【現状維持】 ・奥野川上組集会所【現状維持】 ・豊岡後集会所【現状維持】 ・延行集会所【現状維持】 ・豊岡町富住宅集会所【現状維持】 ・豊岡前4区集会所【現状維持】 ・山の下集会所【現状維持】 ・下組集会所【現状維持】 ・獣肉処理加工施設【長寿命化】 ・中央診療所医師住宅【長寿命化】 ・吉野診療所【長寿命化】 ・目黒消防車庫【現状維持】 ・藤生消防車庫兼詰所【現状維持】 ・使用済み乾電池保管庫【長寿命化】 ・奥野川消防車庫兼詰所【現状維持】 ・泉境休憩所・トイレ【長寿命化】 ・雪輪の滝休憩所・トイレ【長寿命化】

## 第5章 長寿命化の実施計画

### 第1節 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

施設再編方針及び構造躯体の健全性、部位別劣化度を考慮し、長寿命化の効果を反映した更新費用推計を行います。

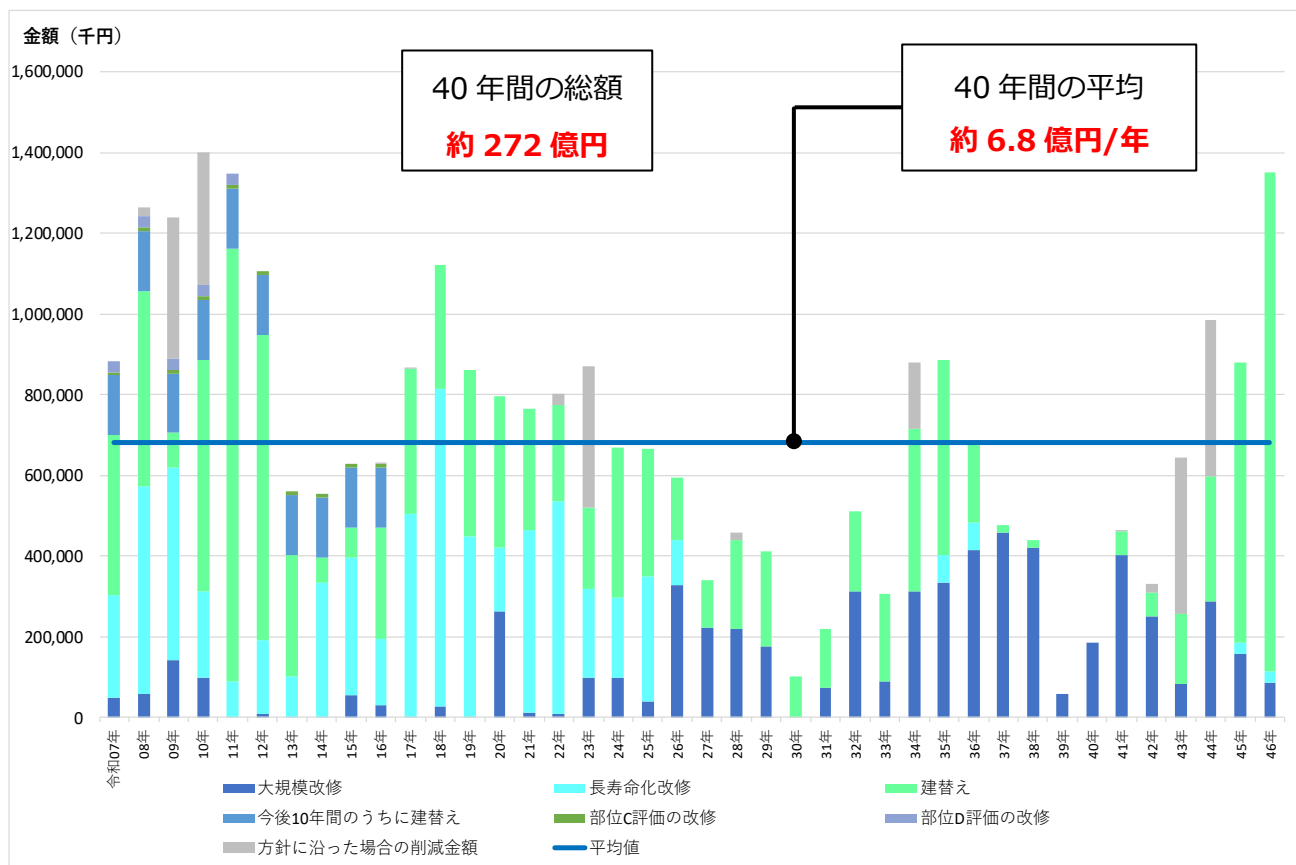
長寿命化型の更新では、予防保全的に長寿命化対策を行うことで、建物を保全し、躯体の耐用年数まで使用することを目指します。躯体の目標耐用年数の中間年で、新築時の整備水準を超える大規模改修を行い、さらに、部位の更新時期に合わせて20年周期で修繕を行うことで、建築物を使用している間、建築物に求められる性能が確保できる状態を維持できるとされています。従来型から長寿命化型に転換することで、目標耐用年数まで躯体を使用することができます。

上記の条件での試算を行った結果、40年間の維持・更新コスト総額は、272億円という結果となり、従来型の場合より、約103億円コストが下回る結果となりました。

直近の10年間では、長寿命化改修、大規模改修、部位改修を行い、施設の長寿命化を行います。

長寿命化が可能な施設については、コストの削減が見込めますが、過去の投資的経費の平均を上回る年もあるため、長寿命化以外の方針も検討する必要があります。

図表 22 長寿命化型の将来更新費用推計



図表 23 長寿命化型の更新費用推計に関する設定・更新単価

連番	施設用途分類	大規模修繕		長寿命化改修		建替え	
		建替えの 25%		建替えの 60%		総務省単価に準拠	
		周期	単価	周期	単価	周期	単価
		(年)	(円/㎡)	(年)	(円/㎡)	(年)	(円/㎡)
1	町民文化・社会教育系施設	20	128,000	40	307,200	80	512,000
2	スポーツ・レクリエーション施設	20	115,200	40	276,480	80	460,800
3	産業系施設	20	128,000	40	307,200	80	512,000
4	学校教育系施設	20	105,600	40	253,440	80	422,400
5	子育て支援施設	20	105,600	40	253,440	80	422,400
6	保健・福祉施設	20	115,200	40	276,480	80	460,800
7	医療施設	20	128,000	40	307,200	80	512,000
8	行政系施設	20	128,000	40	307,200	80	512,000
9	公営住宅	20	89,600	40	215,040	80	358,400
10	公園	20	105,600	40	253,440	80	422,400
11	供給処理施設	20	115,200	40	276,480	80	460,800
12	その他	20	115,200	40	276,480	80	460,800
13	上水道施設	20	115,200	40	276,480	80	460,800

※長寿命化改修、大規模修繕については、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 付属エクセルソフト（文部科学省）の長寿命化改修、大規模改造の初期設定値を参考に設定しています。

## 第 2 節 財政制約ラインの設定

2020 年度から 2024 年度までの学校施設、公営住宅及び庁舎を除く、公共施設にかかる投資的経費は、年平均で約 3.5 億円です。これを毎年の更新費用の上限額（財政制約ライン）として設定します。

図表 24 直近 5 力年の投資的経費

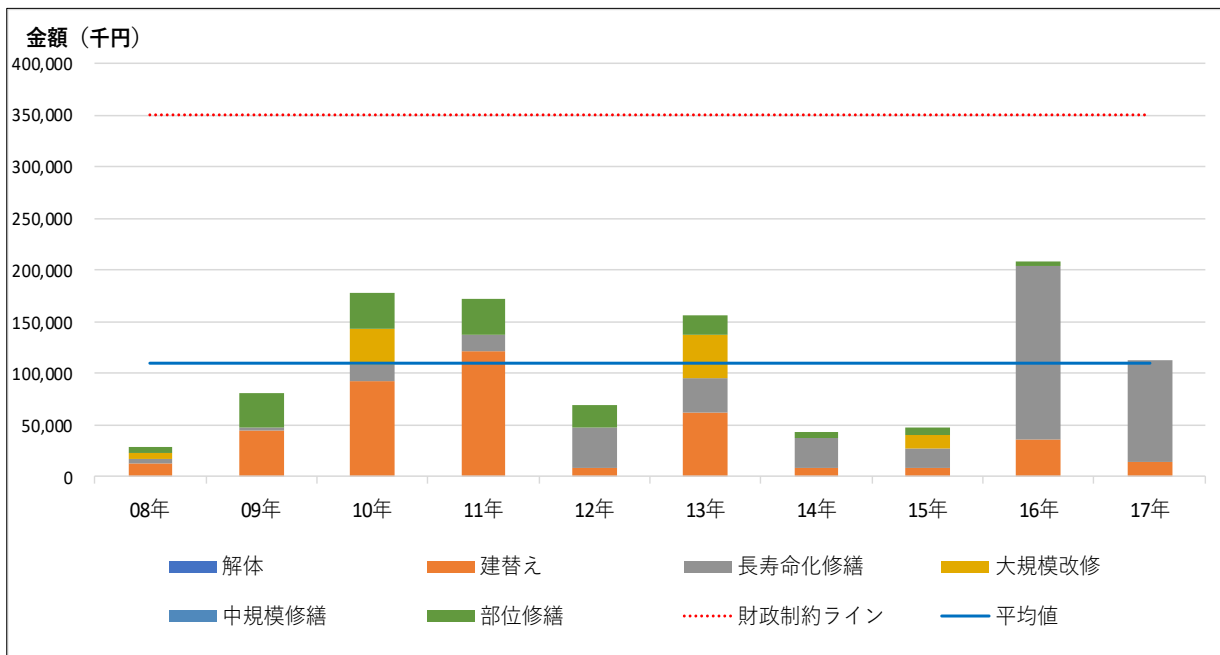
年度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	平均
投資的経費 (億円)	1.1	3.4	7.2	2.1	3.6	3.5

### 第3節 長寿命化の実施計画

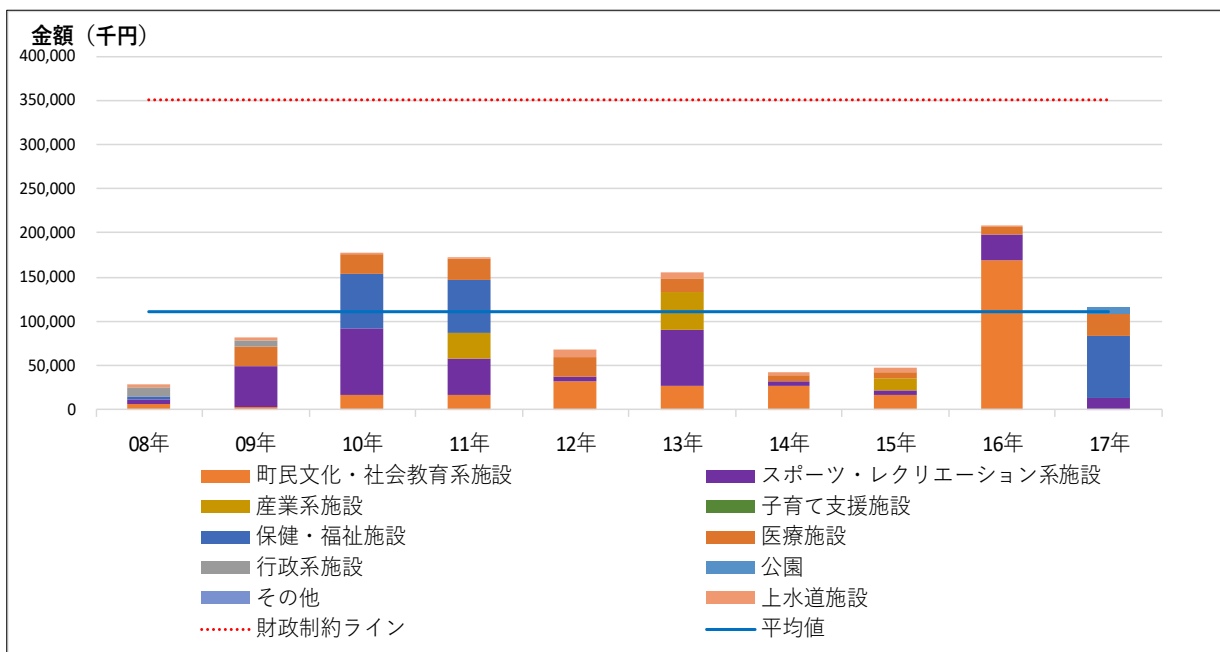
長寿命化型の将来更新費用推計結果に、保全優先度の判定基準を適用し、財政制約ライン（年平均3.5億円）に収まるように、平準化しました。これを基に、10年毎の長寿命化の実施計画を作成するが、今後、町の財政状況や社会情勢、町民ニーズ等の変化を踏まえ、5年ごとに見直しを図ることとする。

なお、施設ごとの実施計画については、次章にとりまとめています。

図表 25 長寿命化型の将来更新費用推計（平準化後）



図表 26 長寿命化型の将来更新費用推計（施設用途別）



## 第6章 施設分類別の個別施設計画

### 第1節 町民文化・社会教育施設 個別施設計画

#### 【コミュニティ施設】

コミュニティセンターは、老朽化が進行している為、今後は長寿命のための施設改修が必要になってきます。山村開発町民センターは、庁舎建設用地として取壊しております。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
2	1	コミュニティセンター	コミュニティセンター	総務課	1,569.74	鉄筋コンクリート	1986年8月26日	○	80	長寿命化	62	D	I	0
51	1	山村開発町民センター	山村開発町民センター	教育課	1,285.98	鉄筋コンクリート	1977年5月30日	×	50	廃止		C	III	0

#### 【集会施設】

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
3	1	豊盛集会所	豊盛集会所	教育課	82.12	木造	2002年1月31日	○	50	現状維持	74	F	III	0
4	1	豊岡前集会所	豊岡前集会所	教育課	192.23	木造	2001年2月28日	○	50	現状維持	91	F	III	0
5	1	富岡地吉集会所	富岡地吉集会所	教育課	196.29	木造	1998年3月23日	○	50	現状維持	75	F	III	0
6	1	富岡久米地集会所	富岡久米地集会所	教育課	82.15	木造	1997年3月17日	○	50	現状維持	81	F	III	0
7	1	国木谷集会所	国木谷集会所	教育課	82.12	木造	1997年3月17日	○	50	現状維持	75	F	III	0
8	1	富岡富民集会所	富岡富民集会所	教育課	55.05	木造	1996年3月18日	○	50	現状維持	75	F	III	0
9	1	豊岡前5区集会所	豊岡前5区集会所	教育課	64.98	木造	1995年3月1日	○	50	現状維持	75	F	III	0
10	1	延野々東組集会所	延野々東組集会所	教育課	78.51	木造	1994年3月29日	○	50	現状維持	77	F	III	0
11	1	豊岡前7区集会所	豊岡前7区集会所	教育課	64.98	木造	1993年3月3日	○	50	現状維持	75	F	III	0
12	1	五郎丸集会所	五郎丸集会所	教育課	97.47	木造	1992年1月29日	○	50	現状維持	75	F	III	0
13	1	豊岡前3区集会所	豊岡前3区集会所	教育課	42.51	木造	1990年11月16日	○	50	現状維持	75	F	III	0
14	1	鈴井集会所	鈴井集会所	教育課	82.12	木造	1991年2月21日	○	50	現状維持	75	F	III	0
15	1	鳥居集会所	鳥居集会所	教育課	64.98	木造	1991年2月21日	○	50	現状維持	75	F	III	0
16	1	奥野川本村集会所	奥野川本村集会所	教育課	45.12	木造	1991年3月28日	○	50	現状維持	65	F	III	0
17	1	奥野川多目的共同利用施設	奥野川多目的共同利用施設	教育課	117.00	鉄筋コンクリート	1990年3月6日	○	80	現状維持	72	F	III	0
18	1	磯崎集会所	磯崎集会所	教育課	64.98	木造	1989年12月14日	○	50	現状維持	65	F	III	0
19	1	葛川集会所	葛川集会所	教育課	64.98	木造	1989年12月14日	○	50	現状維持	62	F	III	0
20	1	天満集会所	天満集会所	教育課	132.00	鉄筋コンクリート	1990年3月26日	○	80	現状維持	75	F	III	0
21	1	奥野川下組集会所	奥野川下組集会所	教育課	69.49	木造	1988年12月17日	○	50	現状維持	62	F	III	0
22	1	河之内集会所	河之内集会所	教育課	49.63	木造	1988年12月24日	○	50	現状維持	75	F	III	0
23	1	西の川集会所	西の川集会所	教育課	82.12	木造	1988年12月17日	○	50	現状維持	75	F	III	0
24	1	豊岡後上組集会所	豊岡後上組集会所	教育課	105.26	木造	1988年2月14日	○	50	現状維持	62	F	III	0
25	1	上在集会所	上在集会所	教育課	77.58	木造	1988年1月19日	○	50	現状維持	75	F	III	0
26	1	豊岡前1区集会所	豊岡前1区集会所	教育課	54.15	木造	1987年12月25日	○	50	現状維持	75	F	III	0
27	1	上目黒集会所	上目黒集会所	教育課	82.12	木造	1987年12月25日	○	50	現状維持	75	F	III	0
28	1	延野々住宅組集会所	延野々住宅組集会所	教育課	55.05	木造	1982年1月17日	○	50	現状維持	62	F	III	0
29	1	延野々集会所	延野々集会所	教育課	229.99	木造	2010年3月29日	○	50	現状維持	90	E	II	0
30	1	蕨生集会所	蕨生集会所	教育課	229.16	鉄骨造	1980年5月31日	×	50	現状維持	65	E	II	0
31	1	祝井集会所	祝井集会所	教育課	49.68	木造	1981年12月25日	○	50	現状維持	75	F	III	0
32	1	野尻集会所	野尻集会所	教育課	63.17	木造	1979年3月31日	×	50	現状維持	72	F	III	0
33	1	古井谷集会所	古井谷集会所	教育課	72.20	木造	1980年2月29日	×	50	現状維持	65	F	III	0

【集会施設】 つづき

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積 (㎡)	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用 10年計(千円) <実施計画>
34	1	谷口集会所	谷口集会所	教育課	96.56	木造	1981年3月20日	×	50	現状維持	72	F	Ⅲ	0
35	1	奥野川中組集会所	奥野川中組集会所	教育課	54.15	木造	1981年12月24日	○	50	現状維持	72	F	Ⅲ	0
36	1	梁瀬集会所	梁瀬集会所	教育課	110.97	鉄骨造	1979年3月31日	×	50	現状維持	62	F	Ⅲ	0
37	1	西組集会所	西組集会所	教育課	96.00	鉄筋コンクリート	1981年12月24日	○	80	現状維持	62	F	Ⅲ	0
38	1	奥内集会所	奥内集会所	教育課	63.75	木造	1980年2月25日	×	50	現状維持	62	F	Ⅲ	0
39	1	小屋の川集会所	小屋の川集会所	教育課	45.13	木造	1983年1月17日	○	50	現状維持	72	F	Ⅲ	0
40	1	宮川集会所	宮川集会所	教育課	105.00	鉄筋コンクリート	1987年3月30日	○	80	現状維持	75	F	Ⅲ	0
41	1	豊岡後12組集会所	豊岡後12組集会所	教育課	64.98	木造	1987年3月28日	○	50	現状維持	75	F	Ⅲ	0
42	1	上家地集会所	上家地集会所	教育課	112.81	木造	1986年10月28日	○	50	現状維持	62	F	Ⅲ	0
43	1	古市場集会所	古市場集会所	教育課	74.90	木造	1986年12月25日	○	50	現状維持	54	E	Ⅲ	0
44	1	寺組集会所	寺組集会所	教育課	36.65	木造	1983年1月17日	○	50	現状維持	54	E	Ⅲ	0
45	1	真土集会所	真土集会所	教育課	69.49	木造	1984年1月8日	○	50	現状維持	62	F	Ⅲ	0
46	1	奥野川上組集会所	奥野川上組集会所	教育課	69.49	木造	1984年3月29日	○	50	現状維持	75	F	Ⅲ	0
47	1	豊岡後集会所	豊岡後集会所	教育課	197.98	木造	1985年3月19日	○	50	現状維持	75	F	Ⅲ	0
48	1	延行集会所	延行集会所	教育課	58.66	木造	1986年1月26日	○	50	現状維持	65	F	Ⅲ	0
49	1	豊岡町営住宅集会所	豊岡町営住宅集会所	教育課	69.82	木造	1986年1月24日	○	50	現状維持	75	F	Ⅲ	0
49	2	豊岡町営住宅集会所	豊岡町営住宅集会所倉庫	教育課	5.41	木造	1986年1月24日	○	50	現状維持		F	Ⅲ	0
53	1	目黒基幹集落センター	集落センター	教育課	515.22	鉄筋コンクリート	1982年6月18日	○	80	長寿命化	62	D	I	110,204
54	1	吉野生交流促進センター	吉野生交流促進センター	教育課	998.10	鉄筋コンクリート	1995年3月29日	○	80	現状維持	65	D	I	153,308
56	1	豊岡前4区集会所	豊岡前4区集会所	教育課	69.49	木造	2006年3月23日	○	50	現状維持	91	F	Ⅲ	0
57	1	山の下集会所	山の下集会所	教育課	45.13	木造	1984年1月18日	○	50	現状維持	77	F	Ⅲ	0
58	1	向井集会所	向井集会所	教育課	132.65	コンクリートブロック	1973年1月1日	×	50	現状維持	50	E	Ⅲ	0
59	1	吉野生公民館	吉野生公民館	教育課	192.11	鉄筋コンクリート	2024年3月31日	○	50	現状維持	100	E	Ⅳ	0
59	2	吉野生公民館	吉野生公民館倉庫	教育課	27.20	鉄骨造	1974年6月30日	×	50	廃止		B	Ⅱ	0
1004	1	下組集会所	下組集会所	教育課	82.12	木造	1990年3月26日	○	50	現状維持	75	F	Ⅲ	0

【文化施設】

芝不器男記念館や目黒ふるさと館については、耐震・防火対策等を実施していく必要があります。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積 (㎡)	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用 10年計(千円) <実施計画>
119	1	目黒ふるさと館	主屋	教育課	121.21	木造	1991年11月10日	○	50	現状維持	75	C	Ⅱ	0
119	2	目黒ふるさと館	長屋門	教育課	31.04	木造	1991年11月10日	○	50	現状維持		C	Ⅱ	0
119	3	目黒ふるさと館	蔵	教育課	64.77	鉄筋コンクリート	1991年11月10日	○	80	現状維持		C	Ⅱ	19,897
137	1	河後森城発掘調査事務所	河後森城発掘調査事務所	教育課	36.10	木造	1992年1月5日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
567	1	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター	教育課	211.77	コンクリートブロック	2011年4月1日	○	50	現状維持		E	Ⅱ	0
602	1	芝不器男記念館	本屋（記念館）	教育課	316.34	木造	1988年3月20日	○	50	現状維持	66	D	Ⅱ	11,224
602	2	芝不器男記念館	表門	教育課	21.66	木造	1988年3月20日	○	50	現状維持		D	Ⅱ	0
602	3	芝不器男記念館	土蔵	教育課	55.80	木造	1988年3月20日	○	50	現状維持		D	Ⅱ	0
602	4	芝不器男記念館	茶室	教育課	19.29	木造	1988年3月20日	○	50	現状維持		D	Ⅱ	0
605	1	小規模作業施設やまぶき庵	小規模作業施設やまぶき庵	教育課	22.00	木造	1998年3月1日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
1034	1	河後森城跡	馬屋	教育課	43.60	木造	2002年3月29日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	5,581

## 第2節 スポーツ・レクリエーション施設 個別施設計画

### 【レクリエーション施設・観光施設】

虹の森公園施設は、平成30年7月豪雨に被災したこともあり、改修を予定します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
92	1	ふれあい交流館	ふれあい交流館	ふるさと創生課	1,371.88	鉄筋コンクリート	2002年10月8日	○	80	現状維持	97	E	II	0
93	1	虹の森公園施設	おさかな館	ふるさと創生課	1,590.91	鉄筋コンクリート	1997年1月16日	○	80	現状維持	72	E	II	23,092
93	2	虹の森公園施設	地域物産センター	ふるさと創生課	1,490.45	鉄筋コンクリート	1997年1月16日	○	80	現状維持	72	E	II	19,230
93	3	虹の森公園施設	第2駐車場便所	ふるさと創生課	90.48	鉄筋コンクリート	1998年3月27日	○	80	現状維持		E	II	0
95	1	虹の森公園展望休憩所	虹の森公園展望休憩所	ふるさと創生課	57.84	木造	2000年3月31日	○	50	長寿命化		C	III	0
101	1	ユースホステル万年荘	宿泊施設	ふるさと創生課	271.49	木造	2025年3月31日	○	50	現状維持	100	E	II	
101	2	ユースホステル万年荘	休憩所	ふるさと創生課	25.92	木造	1990年3月31日	○	50	現状維持		E	II	0
106	1	吉野西レクリエーション広場休憩所	吉野西レクリエーション広場休憩所	ふるさと創生課	19.87	木造	1985年8月7日	○	50	長寿命化		C	III	9,156
107	1	松丸地区住民レクリエーション広場	松丸地区住民レクリエーション広場(クローカー広場)	町民課	19.87	木造	1985年3月30日	○	50	長寿命化		C	III	9,156
110	1	松野町緑地等利用休養施設(旧松野温泉)	公衆浴場及び休憩所	ふるさと創生課	254.32	鉄筋コンクリート	1977年3月30日	×	50	現状維持		B	II	0
110	2	松野町緑地等利用休養施設(旧松野温泉)	公衆便所	ふるさと創生課	21.25	コンクリートブロック	1977年3月30日	×	50	現状維持		B	II	4,896
525	1	松野町農業公園	松野町農業公園管理棟	ふるさと創生課	292.25	木造	2003年5月30日	○	50	現状維持	75	E	II	33,667
525	2	松野町農業公園	松野町農業公園栽培温室	ふるさと創生課	816.00	鉄骨造	2003年5月30日	○	80	現状維持	75	E	II	0
1010	1	滑床養魚センター	滑床養魚センター	ふるさと創生課	90.00	木造	1993年3月25日	○	50	長寿命化		C	III	0
1010	2	滑床養魚センター	滑床養魚センター	ふるさと創生課	547.00	コンクリートブロック	1993年3月25日	○	50	長寿命化		C	III	0

### 【スポーツ施設】

屋内多目的広場は、雨漏りしており改修を予定します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
50	1	松野町健康増進センター	松野町健康増進センター	教育課	565.80	鉄筋コンクリート	1979年1月31日	×	50	長寿命化	36	B	II	0
52	1	スポーツ交流センター	スポーツ交流センター	教育課	1,803.23	鉄筋コンクリート	1992年10月19日	○	80	長寿命化	58	C	I	0
55	1	屋内多目的広場	屋内多目的広場	教育課	1,580.70	鉄骨造	2001年3月30日	○	80	長寿命化	51	C	I	50,113

### 第3節 産業系施設 個別施設計画

松野町総合営農指導拠点施設、松野町育苗施設、松野町梅加工施設は、建築から約20年が経過し、改修が必要な箇所も出てきており、計画的に修繕事業を進める予定です。なお、目黒特産品販売所については、虹の森公園施設地域物産センター及びユースホステル万年荘に、農産物処理加工施設（カミナリ漬）については、農山村多目的機能活用施設に集約化し、令和7年度に施設を解体しております。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
120	1	松野町総合営農指導拠点施設	試験研修ハウス	農林振興課	1,569.60	鉄筋コンクリート	1999年5月1日	○	80	長寿命化	75	E	II	0
120	2	松野町総合営農指導拠点施設	拠点施設外	農林振興課	331.18	木造	1999年5月1日	○	50	長寿命化	75	E	II	0
121	1	松野町育苗施設	育苗施設	農林振興課	924.00	鉄筋コンクリート	1998年10月30日	○	80	長寿命化	75	E	II	0
121	2	松野町育苗施設	育苗施設	農林振興課	66.00	鉄筋コンクリート	2003年2月3日	○	80	長寿命化		E	II	0
122	1	松野町梅加工施設	松野町梅加工施設	農林振興課	328.78	軽量鉄骨造	2002年3月20日	○	50	長寿命化	75	E	II	42,083
136	1	林業用機械保管倉庫	林業用機械保管倉庫	農林振興課	113.00	鉄骨造	1980年3月30日	×	50	長寿命化		C	III	28,928
390	1	目黒共同作業所	目黒共同作業所	総務課	135.78	木造	1985年5月30日	○		長寿命化		C	III	0
392	1	向井大型作業所	向井大型作業所	町民課	340.80	鉄骨造	1990年3月26日	○	80	現状維持	49	C	II	0
393	1	豊岡後共同作業所	豊岡後共同作業所	農林振興課	90.00	鉄骨造	1994年3月31日	○	80	長寿命化		C	III	0
394	1	農山村多目的機能活用施設	農山村多目的機能活用施設	農林振興課	91.26	木造	1996年4月1日	○	50	長寿命化		C	III	0
395	1	山菜等加工創作館	山菜等加工創作館	農林振興課	112.56	鉄骨造	1991年3月25日	○	80	長寿命化		C	III	0
396	1	目黒特産品販売所	目黒特産品販売所	農林振興課	41.80	木造	1992年4月1日	○	50	集約化		C	III	0
397	1	共同農機具保管施設	共同農機具保管施設	農林振興課	90.00	鉄骨造	1992年4月1日	○	80	長寿命化		C	III	0
398	1	田舎みそ加工施設	田舎みそ加工施設	農林振興課	68.02	木造	1992年4月1日	○	50	長寿命化		C	III	0
546	1	農産物処理加工施設(カミナリ漬)	農産物処理加工施設(カミナリ漬)	農林振興課	112.00	鉄筋コンクリート	1984年3月20日	○	80	集約化		C	III	0
566	1	獣肉処理加工施設	獣肉処理加工施設	農林振興課	106.56	鉄骨造	2014年3月20日	○	80	長寿命化		F	III	13,640

### 第4節 子育て支援施設 個別施設計画

松丸保育園は、令和元年度に吉野生保育園と統合し、虹の森まつの保育園に改名し、町内で唯一の保育園となっています。なお、吉野生保育園は、急傾斜地・施設の老朽化により、建物の活用が難しい為、令和3年度に解体しております。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
113	1	虹の森まつの保育園	松丸保育園	町民課	1,326.42	木造	2003年2月28日	○	50	長寿命化	94	D	I	0
115	1	吉野生保育園	吉野生保育園	町民課	508.44	木造	1975年7月1日	×	50	廃止		C	III	0

## 第5節 保健・福祉施設 個別施設計画

### 【高齢福祉施設】

高齢者共同生活住宅は、建物健全度が75点以上となっています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
112	1	高齢者共同生活住宅	高齢者共同生活住宅	保健福祉課	449.41	木造	2004年2月15日	○	50	現状維持	75	E	II	0

### 【保健施設】

保健センターは、建物健全度が75点以上となっています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
118	1	保健センター	保健センター	保健福祉課	501.05	鉄筋コンクリート	1995年9月8日	○	80	現状維持	75	E	II	69,265

### 【その他社会福祉施設】

森の国ふれあいセンターは、建物健全度が40点以下となっており、改修を予定します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
116	1	松野町隣保館	倉庫	町民課	10.00	木造	2003年3月31日	○	50	長寿命化		B	II	0
116	2	松野町隣保館	本館	町民課	198.44	鉄筋コンクリート	1975年11月23日	×	50	建替え	36	B	II	0
117	1	森の国ふれあいセンター	倉庫	町民課	10.83	木造	2004年3月31日	○	50	長寿命化		B	II	1,248
117	2	森の国ふれあいセンター	調理場	町民課	24.00	鉄筋コンクリート	1985年9月25日	○	80	長寿命化		B	II	3,318
117	3	森の国ふれあいセンター	本館	町民課	264.60	鉄筋コンクリート	1978年11月6日	×	50	長寿命化	40	C	II	121,928

## 第6節 医療施設 個別施設計画

中央診療所は、町内唯一の有床診療所として、一次医療機関・在宅医療支援医療機関として今後必要な施設となっています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
429	1	中央診療所医師住宅	中央診療所医師住宅	中央診療所	169.64	鉄筋コンクリート	1982年6月18日	○	80	長寿命化	75	F	III	28,489
1003	1	中央診療所	中央診療所	中央診療所	1,647.88	鉄筋コンクリート	1995年9月8日	○	80	長寿命化	51	C	I	58,048

## 第7節 行政系施設 個別施設計画

### 【庁舎等】

庁舎は令和3年度に建て替えを行っております。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
1	1	松野町役場	庁舎	総務課	2,518.92	鉄筋コンクリート・木造	2023年12月15日	○	80	現所維持	100	A	I	0
1	3	松野町役場	書庫棟	総務課	178.77	鉄骨造	2000年5月8日	○	80	現状維持		A	I	0

### 【消防施設】

消防車庫は、施設の老朽化が課題となっており、計画的に建替えを行っております。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
123	1	防災無線中継局	防災無線中継局	防災安全課	3.61	軽量鉄骨造	1985年3月30日	○	50	廃止		C	III	0
125	1	松丸分団詰所	松丸分団詰所	防災安全課	15.75	鉄骨造	1987年2月25日	○	80	長寿命化		C	III	0
126	1	松丸分団ポンプ車庫	松丸分団ポンプ車庫	防災安全課	21.00	鉄骨造	1986年7月31日	○	80	長寿命化		C	III	0
127	1	延野々消防車庫	延野々消防車庫	防災安全課	20.00	コンクリートブロック	2024年3月31日	○	50	現状維持		C	III	0
128	1	豊岡後消防車庫	豊岡後消防車庫	防災安全課	20.00	コンクリートブロック	2025年3月31日	○	50	現状維持		C	III	0
129	1	豊岡前消防車庫	豊岡前消防車庫	防災安全課	20.00	コンクリートブロック	1980年1月7日	×	50	建替え		C	III	10,240
130	1	富岡消防車庫	富岡消防車庫	防災安全課	20.00	コンクリートブロック	1979年11月20日	×	50	建替え		C	III	0
131	1	目黒消防車庫	目黒消防車庫	防災安全課	33.95	木造	2015年2月19日	○	50	現状維持		F	III	0
132	1	吉野消防車庫	吉野消防車庫	防災安全課	25.94	コンクリートブロック	1984年3月20日	○	50	建替え		C	III	6,641
133	2	炭生消防車庫兼詰所	炭生消防車庫兼詰所	防災安全課	54.00	木造	2016年2月29日	○		現状維持		F	III	0
1033	1	奥野川消防車庫兼詰所	奥野川消防車庫兼詰所	防災安全課	55.94	木造	2017年5月2日	○	50	現状維持		F	III	0

### 【その他行政系施設】

直営班事業所は、建物健全度が75点以上となっています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円)<実施計画>
111	1	木工工作所(旧老人憩いの家)	老人憩いの家	総務課	45.13	木造	1991年12月24日	○	50	長寿命化		C	III	0
135	1	直営班事業所	直営班事業所	建設環境課	284.00	鉄骨造	1992年10月4日	○	80	長寿命化	86	E	II	0
135	2	直営班事業所	直営班倉庫	建設環境課	200.00	鉄骨造	1993年3月31日	○	80	長寿命化	77	E	II	0
1024	1	使用済み乾電池保管庫	倉庫	建設環境課	9.40	木造	2015年8月11日	○	50	長寿命化		F	III	0

## 第8節 学校教育系施設 個別施設計画

松野南小学校は、平成29年度末に閉校し、施設の新たな活用方針を検討しています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
91	1	松野南小学校	松野南小学校校舎	ふるさと創生課	1,056.40	鉄筋コンクリート	1986年3月31日	○	80	長寿命化	49	D	II	0
91	2	松野南小学校	体育館	ふるさと創生課	680.00	鉄筋コンクリート	1986年3月31日	○	80	長寿命化	65	D	II	0
91	3	松野南小学校	倉庫	ふるさと創生課	38.00	鉄筋コンクリート	1986年3月31日	○	80	長寿命化		D	II	0
91	4	松野南小学校	プール付属室	ふるさと創生課	23.63	鉄筋コンクリート	1986年3月31日	○	80	長寿命化		D	II	0

## 第9節 公園 個別施設計画

公園の利用者の為の施設となっています。老朽化が進行しており、修繕の必要な箇所もあります。利用頻度が少ない施設もある為、今後の改修については、費用対効果を考慮した上で検討していきます。また、伊井公園公衆便所は、利用頻度が少なく、老朽化が著しいため、取り壊しを予定しています。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
94	1	松野町河川公園やすらぎゾーン(上流部)	便所棟	ふるさと創生課	30.42	鉄筋コンクリート	1996年3月29日	○	80	長寿命化		C	III	7,710
1005	1	奥内農村公園公衆便所	公衆便所	農林振興課	5.50	木造	1994年12月26日	○	50	長寿命化		C	III	0
1006	1	伊井公園公衆便所	公衆便所	建設環境課	9.61	コンクリートブロック	1990年3月15日	○	50	廃止		C	III	0
1007	1	文珠公園公衆便所	公衆便所	建設環境課	5.76	コンクリートブロック	1992年4月8日	○	50	長寿命化		C	III	0
1008	1	天ヶ滝公園公衆便所	公衆便所	建設環境課	1.41	コンクリートブロック	1993年3月29日	○	50	長寿命化		C	III	0

## 第10節 供給処理施設 個別施設計画

町民が利用する施設ではありませんが、老朽化が進行している為、改修を検討します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用10年計(千円) <実施計画>
124	1	リサイクルセンター	事務所	建設環境課	75.56	鉄骨造	1996年8月16日	○	80	長寿命化		C	III	10,445

## 第 11 節 その他施設 個別施設計画

倉庫（旧タバコ乾燥場）は、半分を倉庫、半分を有害獣解体処理施設として使用しています。公衆便所は、老朽化が進行している施設も多く、改修や取壊し等を検討します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積 (㎡)	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用 10年計(千円) <実施計画>
97	1	滑床公衆便所（キャンプ場）	滑床公衆便所（キャンプ場）	ふるさと創生課	30.60	木造	1994年3月31日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
98	1	滑床レクリエーション広場便所（第2駐車場）	滑床レクリエーション広場便所（第2駐車場）	ふるさと創生課	36.66	木造	1993年3月5日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
100	1	滑床出合滑公衆便所	滑床出合滑公衆便所	ふるさと創生課	5.80	コンクリートブロック	1992年3月13日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
104	1	吉野生山村広場付帯施設	吉野生山村広場付帯施設	吉野生支所	30.68	木造	1988年8月18日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
105	1	俳句の小径休憩所・便所	休憩所	教育課	21.66	木造	1990年3月30日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
105	2	俳句の小径休憩所・便所	便所	教育課	9.97	木造	1990年3月30日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
108	1	日平鉱泉場	貯水槽	ふるさと創生課	21.76	鉄骨造	1976年12月3日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
108	2	日平鉱泉場	機械室	ふるさと創生課	10.00	鉄骨造	1976年12月3日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
109	1	日平鉱泉浴場	日平鉱泉浴場	ふるさと創生課	24.70	木造	1977年3月1日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
524	1	滑床駐車場便所（第1駐車場）	滑床駐車場便所（第1駐車場）	ふるさと創生課	30.40	木造	1991年3月13日	○	50	長寿命化		C	Ⅲ	0
565	1	倉庫（旧タバコ乾燥場）	倉庫	総務課	626.64	鉄骨造	1990年10月1日	○	80	長寿命化	52	D	Ⅱ	0
1016	1	県境休憩所・トイレ	休憩所	ふるさと創生課	23.60	木造	2016年6月10日	○	50	長寿命化		F	Ⅲ	0
1016	2	県境休憩所・トイレ	トイレ	ふるさと創生課	10.85	木造	2016年6月10日	○	50	長寿命化		F	Ⅲ	0
1023	1	雪輪の滝休憩所・トイレ	休憩所	ふるさと創生課	52.09	木造	2016年11月18日	○	50	長寿命化		F	Ⅲ	0
1023	2	雪輪の滝休憩所・トイレ	トイレ	ふるさと創生課	20.34	木造	2016年11月18日	○	50	長寿命化		F	Ⅲ	0

## 第 12 節 上水道施設 個別施設計画

上水道施設は、町民が利用する施設ではありませんが、施設の老朽化が課題となっており、改修を検討します。

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	所属課	延床面積(m <sup>2</sup> )	建物構造	建築年月日	新耐震基準	目標耐用年数	方針	建物健全度	工事保全優先度	施設重要度	更新費用 10年計(千円) <実施計画>
433	1	松丸浄水場	調整室	建設環境課	2.55	鉄筋コンクリート	1955年3月1日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	1,058
433	2	松丸浄水場	滅菌室	建設環境課	2.60	鉄筋コンクリート	1955年3月1日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	1,078
434	1	豊岡後浄水場	滅菌室	建設環境課	6.60	鉄筋コンクリート	1977年3月1日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	3,041
435	1	豊岡前浄水場	滅菌室	建設環境課	8.75	鉄筋コンクリート	1983年3月1日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	2,177
436	1	川の内ポンプ室	川の内ポンプ室	建設環境課	3.40	鉄筋コンクリート	1983年3月1日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	846
437	1	富岡浄水場	富岡浄水場	建設環境課	1.70	鉄筋コンクリート	1983年3月1日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	423
439	1	目黒浄水場	滅菌室	建設環境課	12.76	鉄筋コンクリート	1975年3月1日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	5,292
440	1	奥野川第1浄水場	電気室	建設環境課	8.34	鉄筋コンクリート	1991年3月25日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	2,306
440	2	奥野川第1浄水場	滅菌室	建設環境課	8.34	鉄筋コンクリート	1991年3月25日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	2,306
441	1	葛川浄水場	電気計装室	建設環境課	5.12	鉄筋コンクリート	1999年3月31日	○	80	長寿命化		D	Ⅲ	0
441	2	葛川浄水場	滅菌室	建設環境課	6.21	鉄筋コンクリート	1999年3月31日	○	80	長寿命化		D	Ⅲ	0
441	3	葛川浄水場	ポンプ室	建設環境課	6.27	鉄筋コンクリート	1999年3月31日	○	80	長寿命化		D	Ⅲ	0
442	1	遊鶴羽共同浄水場	滅菌室	建設環境課	1.50	鉄筋コンクリート	1986年2月16日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	207
604	1	水道資材倉庫	倉庫	建設環境課	34.00	鉄骨造	1991年3月31日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	9,400
606	1	小屋の川ポンプ室	ポンプ室	建設環境課	5.76	コンクリートブロック	1972年3月31日	×	50	長寿命化		C	Ⅲ	2,389
607	1	榎谷ポンプ室	ポンプ室	建設環境課	3.42	鉄筋コンクリート	1993年3月31日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	946
608	1	奥野川第2浄水場	電気室	建設環境課	7.84	鉄筋コンクリート	1993年3月31日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	2,168
608	2	奥野川第2浄水場	滅菌室	建設環境課	5.29	鉄筋コンクリート	1993年3月31日	○	80	長寿命化		C	Ⅲ	1,463
609	1	葛川高区ポンプ室	電気室及び滅菌室	建設環境課	6.21	鉄筋コンクリート	1999年3月31日	○	80	長寿命化		D	Ⅲ	0

## 第7章 計画のフォローアップ

---

### 第1節 情報基盤の整備と活用

施設マネジメントシステムを活用して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする維持管理運営経費、工事履歴や劣化調査結果等を一元管理していきます。

### 第2節 推進体制の整備

計画の推進にあたっては、公共施設マネジメント担当課を中心とした全庁的な体制で対応を図ります。また劣化調査や日常の施設管理の質を向上させるため、施設所管課と公共施設マネジメント担当課が協力し、調査の実施や不具合箇所の早期把握と対応を行っていきます。

### 第3節 フォローアップ

本計画は、対象施設の改修や建替えの方針及び工事概要を計画づけるものです。計画に位置付けられた事業は、優先度判定や事業の方向性検討等の手続きを経て予算要求することとし、当該年度の予算査定において与えられた財源の中で確定するものとします。

また実施計画及び各年度の工事実績についても施設マネジメントシステムにおいて管理し、翌年度以降の展開に向けて適宜、見直しを行うことで、計画の確実な推進を図ります。

# 松野町公共施設個別施設計画

令和3年3月（令和8年3月改訂）

松野町 総務課

〒798-2192 愛媛県北宇和郡松野町大字松丸 343

TEL : 0895-42-1111 FAX : 0895-42-1119